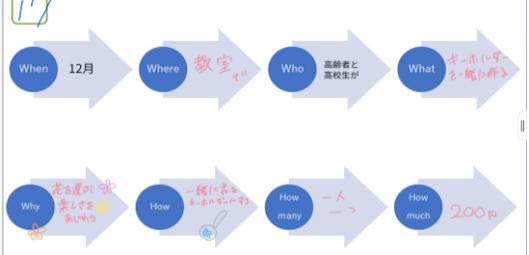
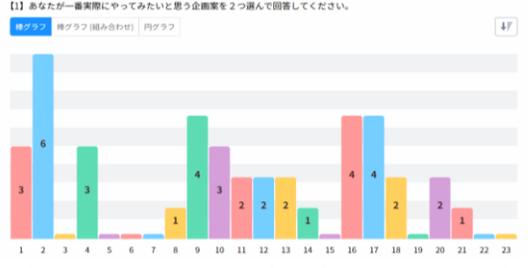


主体的・対話的で深い学びの実践シート（農業、水産）

1 日時・場所	令和5年11月14日（火）1限	教室棟100教室
2 対象・人数	総合学科3年3～6組 総合選択E「生物活用」選択者 23名	
3 科目・単元名	生物活用	生物活用の実際
4 本時の目標	生物を活用した近隣老人福祉施設利用者との交流内容について考えを深め、自分の意見を持ち、分かりやすく発表をして伝えることができる。	
5 生徒の実態や課題	総合選択科目であるため、農業、商業、家庭の専門系生徒及び、実習を伴う授業の経験がほとんどない文理系生徒が選択しているため、生徒の知識や経験が多岐にわたっている。2単位授業だが、別の教員と1単位ずつ曜日で分けて担当しているため、週1時間しか授業時間がなく、実習をやり切ることが極めて難しい状況にある。	
6 主体的・対話的で深い学びの場面	<ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人が企画案（プレゼン用資料）を作成して発表することで、全員が主体性を持って内容を考える。 (2) ロイロノート（株式会社LoiLo、以下「ロイロノート」と表記）を活用することで、BYOD端末を利用して、自宅で資料作成や手直しが容易にでき、いつでも思考を深めることができる。 (3) プロジェクター投影して1人ずつプレゼンし、自分の考えを相手に伝える。 (4) 質疑応答を取り入れることで、聞き手はプレゼンターの話をよりきちんと聴く姿勢をもって理解しようとし、プレゼンターはその場で答えを考え、伝える能力を養う。 	
7 ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの提出機能を利用した発表内容の集約。 ・生徒発表機能を利用し、プロジェクタ投影してプレゼンする。 ・アンケート機能を利用した投票、結果集計。 	
8 準備・打ち合わせ	<ol style="list-style-type: none"> (1) 交流に関する概要（人数、参加予定者の状況、予算、実施場所等）を示すパワーポイント作成し、事前に示しておく。 (2) 企画案提出カード（フォーマット）を準備する。事前入力を促しておく。 (3) アンケートの作成。 (4) プロジェクタ準備。 	
9 仮説	<ol style="list-style-type: none"> (1) 班分けせずに個人で考え、発表する機会をつくれば、バックグラウンドの違いを活かした多様なアイデアが生まれるだろう。 (2) ロイロノートを活用してプレゼン内容を事前提出すれば、円滑に発表態勢に入れるだろう。 (3) アンケート機能を利用すれば、誰に投票した等の情報が特定されないため素直な意見が集約できるだろう。 	

10 評価するポイント	評価の観点	A (十分に満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する)
生物を活用した近隣老人福祉施設利用者との交流内容について考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度	テーマに対して、既習の知識を生かし、関連する資料を調べ自分の考えを深めようとしている。	テーマに対して自分の考えを深めようとしている。	テーマに対して自分の考えを深めようとしていない。
自分の意見を持ち、分かりやすく発表して伝えることができる。	思考・判断・表現	自分の意見を持ち、発表が分かりやすく意図したことが明確に伝えられた。	的確に発表でき、意図したことがほぼ伝えられた。	的確に発表できず、意図が伝えられなかった。
11 主体的・対話的で深い学び場面など	 <p>↑生徒が考えた企画案の一例。予めフォーマットを決めておくことで内容を検討しやすく、発表も比較的容易である。</p>		 <p>↑発表の様子 23人の生徒はそれぞれ1分半程度で内容を説明し、質問に答えた。</p>	
	 <p>↑全員の発表後、ロイロノートのアンケート機能を利用して、やってみたい企画案をその場で投票。</p>		 <p>↑結果もその場で公表。結果を受けて実際に実施する企画を決定するには時間的に難しかった。</p>	
12 生徒の変容	<p>日頃おとなしく発表に慣れていない生徒が多いが、今回の発表では、比較的自信をもってしっかりと自分の意見を述べる事ができていた。また、はじめて聞いた発表に対し、質問をその場で考えて速やかに行うという難しいミッションを課したが、ほとんどの生徒が問題なく実行できていた。</p> <p>事後アンケートで、今回はじめて企画立案を個人で考えて発表したことについての感想を聞いたが、「自分なりの企画が考えられてよかった」「個人で考えるからこそいろいろな意見が聞けて面白かった」というような好意的な回答がたくさん見られた。</p>			
13 検証と考察	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にロイロノートで期限を決めて企画案の提出を促したことで、授業に欠席した生徒も予定通り提出でき、発表を実施することができた。 ・簡単に発表できる企画案のフォーマットを作成したことで、全ての生徒が手軽に自分なりの案を考えることができた。事後アンケートでも生徒全員が「フォーマットがあると案を考えるのが簡単だった」と回答した。 ・1分程度の短い発表のため、多くの生徒が負担なく行うことができた。質問を考えるために、発表を真剣に聞く機会にもつながった。事後アンケートでは、「発表はしっかりできたが、質問を考えてすることが難しかった」と回答する生徒が多かった。 ・生徒が考えた企画案は、自分たちの系列の学びが活かされた内容のものが多く、多様なアイデアが生まれた。アンケートでも、「自分では思いつかない企画が聞けて面白かった」とコメントする生徒が多かった。 			
14 振り返りと改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用したことで企画案の提出から発表、アンケート実施に至るまで円滑に行うことができた。授業時以外でも課題の指示等をロイロノート経由で行うことができ、生徒も個人のスマートフォンから気軽にチェックや課題提出をすることができ、非常に便利なツールであることが分かった。生徒への事後アンケートでもスマートフォンから操作ができることについて、全員が「便利である」と回答した。 ・これまで企画を考えたり発表する際はグループでの取り組みが多かったこともあり、今回のような場合でも相談し合って同じような企画案になる可能性を懸念していたが、それぞれの専攻の学びを取り入れながら一人一人がオリジナルの案を考えることができた。また、発表の仕方を簡単にし、全員が平等に発表し合うことで、無理なく行うことができ、スモールステップになった。 ・「やってみたい企画案アンケート」の実施後、結果を踏まえて実際に行う企画を決めるところまで1時間で展開するには時間が足りなかったため、余裕をもって実施したい。 			